

II 花き(切花)情報

9月(中旬)までの経過

8月下旬、9月上旬は秋彼岸に向けての小休止となるどころ、猛暑による開花遅延等で品薄が続き、単価高が止まらない状況となった。9月中旬は彼岸需要も相まって和花の値上がり著しく、洋花が値を下げた。彼岸需要は9月9日の週がピークとなった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	8月下旬は前年と比べてかなり減ったが、9月上旬は前年並となった。9月中旬は秋彼岸に向けて前年よりかなり多い入荷となった。
相場	8月下旬から9月中旬まで、3旬とおして前年よりかなり高い相場となった。
動向	一部では暑さが厳しい8月盆の墓参りを9月彼岸に併せて行う等の行動変化があるとの話もあり、連休でのイベント需要等も重なり、彼岸需要に向けた入荷が前年よりかなり増えたにもかかわらず、相場が続伸する展開となった。

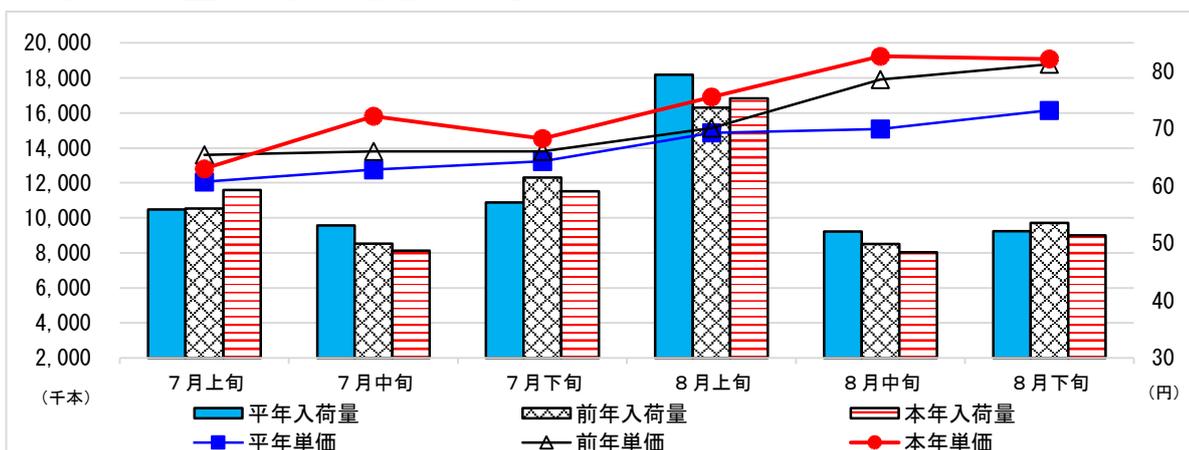
品目別経過

品目	経過
SPキク	株大田花き 需要期は、昨年同様天候による開花遅延の影響を受け、国内産は品薄高単価での取引となった。
コギク	株大田花き 昨年のような高温による大きな開花遅延は起きない見込みだったが、結果的に昨年並の高温遅延が発生した産地が多い。上旬から品薄状態となり、お彼岸の中日まで引き合い強く、問い合わせも非常に多い状況となった。
ケイトウ	株フラワーオークションジャパン 久留米系は埼玉産中心の入荷で、お彼岸需要期と出荷ピークがうまく重なった。

10月の見通し

品目	見通し
カーネーション	株フラワーオークションジャパン 北海道、長野県中心の入荷も数量減少傾向の見込み。徐々に暖地から丈の短い等級の入荷が始まる見込み。
ガーベラ	株大田花き 暑さが落ち着けば新植分も数量が出始める。新しい品種も含めて、まだ本来の色合いが出ない状況だが、各産地10月半ばには通常の秋シーズンに入る見込み。

8月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均